

らじは



今年度より、PHILIPS 社製の「Azurion」が導入されました。

従来はシングルプレーンと呼ばれるアーム（放射線管球と検出器のセット）が 1 本の装置でしたが、今回導入された装置はバイプレーンと呼ばれるアームが 2 本で構成された装置になります。



また、検出器（FPD）は、20 インチ・15 インチと大口径なものを採用しており、広い視野を確保できます。

バイプレーン装置は違う角度からの画像を一度に収集できるため、同時に 2 方向からの撮影が可能のため、造影剤使用量を減らし、検査時間の短縮に繋がるものと思います。

又、脳血管などの治療の際、同時に 2 方向から血管の様子を観察しながら手技を行う事ができ、以前の装置に比べより高度な DSA（画像処理により血管だけを写す）・3DRA（血管を立体的に構築する）・CBCT（CT 装置の様な画像を容易に撮影する）などいろいろな撮影方法が可能なることにより、より安全で効率の良い血管内治療（血栓回収術・脳動脈瘤のコイル塞栓術・頸動脈狭窄症のステントによる拡張など）を行えると期待されます。

